

# 環境学習みえ

2017年4月／三重県環境学習情報センター(四日市市桜町3684-11)年4回発行

表紙の人／前列中央：大西 かおりさん(NPO法人大杉谷自然学校 校長)と大杉谷自然学校のみなさん 2017 No.68

春

大杉谷の暮らし

（大杉谷自然学校がめざすもの）



# 大杉谷自然学校

## 大杉谷の暮らし

（大杉谷自然学校がめざすもの）

自然ってなんでしょう？ 私たちは自然のことをどれだけ知っているのでしょうか？  
みなさんは、自然なくして、人の生活が成り立たない事実について、ふり返って  
みたことがありますか？

今回は、多気郡大台町を拠点とする大杉谷自然学校をご紹介します。

【お話を伺った人】



NPO法人大杉谷自然学校

おおにし  
校長 大西 かおりさん

（社）日本環境教育フォーラム自然学校指導者養成講座1期生。大杉谷自然学校とともに17年目です。素晴らしい自然体験をお届けします。



NPO法人大杉谷自然学校  
所在地：三重県多気郡大台町久豆199

平成28年度「みどりの日」  
自然環境功労者環境大臣表彰受賞  
自然体験・キャンプ・林業体験などの企画・実施。  
地域情報の記録・収集・調査。  
地域自然・文化の保護活動などを行っています。

大台町大杉谷地区では、過疎化と高齢化が進み、児童数が4人まで減少した大杉小学校が閉校になりました。小学校としての役目を終えた校舎は、平成13年、自然をフィールドに活動し体験する拠点、大杉谷自然学校として、再出発しました。

「子どもは、自然と相性がいいんですよ。自然の中では夢中になつて遊び、学び、子ども同士育ち合うんです。」そう話してくれるのは、大杉谷自然学校の校長、大西かおりさんです。

「子どもたちの多くは日常生活での自然とのつながりや関わりが希薄です。公園には土があつても通路はアスファルトで覆われているので土の道を歩いたことがない、石や岩を触ったことがない、いやいや火を見たことがない子がいるんだと、指導者の間で話題になるほどだそうです。

子どもたちに本物の自然を提供する場所として、自然学校は重要な役割を担っています。

大杉谷を愛して止まない大西さんにお話を伺つてきました。



## 自然学校の役割

大杉谷には、山や川など、豊かな本物の自然があります。大杉谷自然学校は、この自然をフィールドに、生きもの観察や川遊び、魚とり、工作などを体験できるプログラムを用意しています。

自然が本物と言うことは、そこに潜む危険もまた本物です。

大西さんは、自然の脅威から身を守ることを学ぶためには「子どもだましのキケンではダメだ!」と言います。

大西さんが大事にしているのは、子どもたちに潜在する能力です。「彼らには危険を察知する能力があり、その危険をさけて遊んだり楽しんだりする能力も持っています。本物の危険に直面すれば、自ずと気をつけるのです。擦り傷もしない高い安全管理の下では、子どもたちは、本来経験から学ぶべき能力をみがく機会を失っているのではないかと思います。」

私たちは、本当に危険な思いをすることがあるのでしょうか。

今の社会では、何をするにも作るにも、管理者や指導者は安全管理を一番に考え、考えを重ねて計画を練り、実施します。その上で、さらに現場でも注意喚起していきます。こうなると、一概には言えませんが、どこが本当に危険なのかがわからなくなっているのではないかと思えてくるのです。

大杉谷の地に展開する自然学校には、もうひとつ役割があります。地域に伝わる伝統文化や暮らし、そこに長く住んできた地域の人たちの英知を子どもたちに伝えていくことです。私たちが今の暮らしを振り返り、自然とともに生きることを考えたとき、長い時間をかけて昔から伝わってきたことを踏まえてこそ、これからの中の未来があるのではないかと、大西さんは言います。

現在、大杉谷地区は、260名ほどの人口しかなく、高齢化率は70%以上です。高齢化が進む中、今伝えなければ、大切に培ってきた知恵や技術が途絶えてしまふことが残念でならないと大西さんは嘆いています。

大杉谷自然学校では、擦り傷から学ぶことで大きな怪我を防ぐような、生涯役に立つ知恵を子どもたちに身につけてほしいと願っています。



どうすれば燃えるのかなあ?!

## 過去から未来へ

## 自然への畏敬

平成16年9月、台風21号が大きな被害をもたらしました。記録的な雨量により、宮川は氾濫、川沿いの斜面が相次いで崩壊し、土石流となつて川岸を押し流しました。今も川のあちらこちらにあるむき出しの岩肌はそのときの爪痕です。

「自然はすごい仕事してつたなあ。」

大西さんが、被災後に地域の人から聞いた、忘れられない一言です。山の崩壊により道路が遮断されて一部孤立状態になりました。ライフラインもままならない状況の中、自然の驚異を目の当たりにしながらも自然への畏敬の想いを語られたことに、心底感動したと言います。

## 自然は作れるのか

幼児期は、たくさんのこと経験し、吸収できる時期です。その時期に、自然の中で暮らしたり、考えたりしないと、生涯自然と切り離されていくことが多くなってしまうのではないかと、大西さんは危惧しています。

昔は都会で暮らしていた人たちも、少なからず田舎で暮らした後に、都会に出たり、親戚がいる田舎と頻繁に行き来したりなど、自然をまったく知らない人は少なかつたのではないかでしょうか。

しかし、今は、都市での便利な生活しか知らない子どもたちが増えてきました。自然や地域の重要性は知っているものの、経験や知識が少ないのが現状です。

以前、出会った若者の一人が、自然界の浄化作用や生態系の機能などは、最先端のAI(人工知能)などの科学で作られるのではないかと考えていたことに大西さんは驚きました。

「科学技術の発達と、自然とともに暮らす経験の欠如からか、何であれ全て人間が創造主であるかのように考えている人がいる事実に驚愕しています。自然には、つながりや相互に及ぼす影響などなど、人間には計り知れないことや、科学では解き明かせないことがたくさんあるはずなのです。でも、こればかりは本物の自然がある暮らしの中にいないと、自然の複雑さや神秘、驚異などを感じることができないのかもしれません。」

現代人から見ると、昔の生活はとても不便な、非科学的で迷信が多く、作り話ばかりのように思われるかもしれません。ですが、昔、科学が確立していなかつた時代には、むしろ、生活に直結した経験に裏付けられた、理にかなつた暮らししがそこにありましたのです。自然や地域に根差し、受け継がれた暮らしと文化を大切にし、常に回帰していくしかなければならないと考え、大杉谷自然学校は取り組みを進めています。

## 伝えるせせらぎ会



豆ご飯・いも餅・こんにゃく

# 大杉谷の暮らしから

大杉谷「せせらぎ会」は、地域の郷土料理を守つて、こうと、地元のお母さんたちが集まつてできたグループです。大杉谷自然学校の事務所がある大杉谷地域総合センターには、介護予防教室が併設されています。せせらぎ会は、大台町から教室に集まる方々の昼食と、大杉谷自然学校のキャンプ参加者の食事を任せています。この場を使って、食文化を伝えるために、習い覚えた郷土料理をいろいろ作ってきましたが、今では自然が変わり、材料になる山菜などの植物がなくなってしまったので、作りたくても作れないことが残念だと言います。

紹介していただいたのは、豆まきの豆ご飯、いも餅。そして、こんにゃくです。この日作った料理は、介護予防教室なか作られなくなつた料理を喜び、参加者の食が進みました。

大杉谷「せせらぎ会」は、地域の郷土料理を守つて、こうと、地元のお母さんたちが集まつてできたグループです。大杉谷自然



せせらぎ会のみなさん

大台町では、小学生が放課後に自然体験活動のできるプログラムを提供しています。大杉谷自然学校が4つの小学校を月に1回ずつ訪問し、観察会や自然体験、ものづくりなどを指導しています。

### \*ブーブー笛作り\*

昔の遊び道具は、簡単に自分の思い通りに操ることができませんでした。作つてもすぐに遊べるわけではなく、手直しして、完成まで工夫を重ねました。道具も道具の使い方も身体の使い方も、何度も何度も調整し、練習しました。様々な試行錯誤があつて、ようやく楽しく遊べるようになります。ところが、今の遊びは、練習も工夫もなしで、すぐ楽しく遊べるようになります。しかし、創造する、思考する機会としては手作りの道具に勝るものはないのです。



形や吹き方の微調整をするよ。

## 体験するのびのびクラブ

大杉谷自然学校では、しゃくり名人から技を教えてもらう「しゃくり漁体验」プログラムを実施しています。

しゃくり漁は、竿先についた1本の針で鮎をひっかける(※方言では「しゃくる」と言います)漁法です。昔の子どもたちは、小学校低学年の頃から家族や地域の人と共に川に出かけ、鮎を獲るために、見よう見まねで鮎の生態や行動、川の環境、水中での鮎との駆け引きを習得しました。さらに漁具である竿や、水中を覗く道具である水眼(箱眼鏡)は手作りです。技術の他、道具作りも習得しながら、上達していくのです。

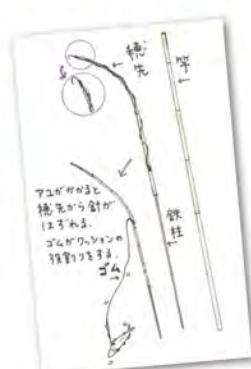
## 受け継ぐしゃくり漁



しゃくり漁を継承する。



おしえて!名人!!



人々がどれほど頻繁に川で漁をしていましたのかを、今の私たちに伝えているのです。

漁具の1つ、水眼(左上写真)をみてください。上部には「水切」と呼ばれる、水流を弱める木片が付いています。水流が強いところで使う水眼の木片はより高くなるなど、川の水流に合わせて高さを変えています。さらに竿を両手で扱う漁では、水眼を安定させるために下部の木枠を口でくわえます。ひと夏使うと噛みぬいてしまうほど使った水流が強くなるなど、川の水流に合わせて高さを変えています。さらに竿を両手で扱う漁では、水眼を安定させるために下部の木枠を口でくわえます。ひと夏使った道具も道具の使い方も身体の使い方も、何度も何度も調整し、練習しました。様々な試行錯誤があつて、ようやく楽しく遊べるようになります。ところが、今の遊びは、練習も工夫もなしで、すぐ楽しく遊べるようになります。しかし、創造する、思考する機会としては手作りの道具に勝るものはないのです。

# 地域人であれ

大西さん「自然学校は地域毎にひとつある。それは、そこに残っているすばらしいものを伝える機関としての役割があると思うから。自然や文化を守り、自分たちの経験を発信する人たちが地域にいるべきだと思う。地域にこそ価値があつて貴重であることを、多くの人に感じてもらいたい」  
「新しいのも良いけれど、そればかりじゃ、ねえ」とせせらぎ会の方もお話ししてくれました。

便利とは言えない山間の生活環境にあつて、この強さは何でしようか。

電化された機器の多い今時の暮らし。私たちは、ひとたび電気が供給されなくなれば、何もできないほど痛手を被るかもしれません。その覚悟ができるのでしようか。真に生きる力を身に付け、本当の豊かさに気づくには、便利さばかりが良いことではないことを大杉谷の暮らしが教えてくれます。

子どもたちには、「自然と共に暮らしきを知り、守り、伝える地域人である」と願うばかりです。



春

## 大杉谷を伝える



みつけた!

それでも、大杉谷自然学は、『大杉谷の自然との暮らし』を伝えづけていくつもりです。』

「過疎がどんなに進んでも、この地域が今の社会に伝える重要性は、微動だにしません。私は自然学校で、この地域の素晴らしさを伝える機会が得られて最高に幸せです。」



大杉谷で川遊び、サイコー!!

子育て世代が都会に行つてしまい、自然と切り離され、都会で育った子どもたち。

大西さん「私たちの世代から見れば、今は、経済活動優先の、便利さだけに囲まれてしまつた不幸な時代といえるのかもしれません。地域とのギャップがこんなにも大きくなつてしまつている今、地域で自然とともに暮らすことや、そこから学びることがさらに重要になつてくるでしよう。世の中の移り変りはとても早いのですが

ます。

写真提供 大杉谷自然学校

### 環境学習指導者養成講座

### 講座案内

### 環境学習指導者養成 スキルアップ講座

## 自然体験活動指導者(NEAL) 養成講座

#### NEALトレーナー

講師：大西かおり 氏 (NPO法人大杉谷自然学校 校長)

開催時期：秋～冬 全2回開催予定

※詳細が決まり次第、ホームページ・チラシなどでお知らせします。

## すごい！地域の教育力 ～大杉谷自然学校の取り組みから～

講師：大西かおり 氏 (NPO法人大杉谷自然学校 校長)

開催日時：平成29年5月28日(日) 13:30～15:00

場所：津市河芸公民館

対象：18歳以上

参加費：無料

締切：平成29年5月9日(火)

募集人数：40人

主催・申込先：三重県環境学習情報センター

環境学習推進員の  
三浦順子が  
担当しました!

活動レポートVol.17

環境・体験講座などのようすを  
紹介するゾウ!

# 「あそべるたいむ」

平成29年2月12日(日)



- 4月 9日 どんぐりゴマ
- 5月 14日 竹の輪のけん玉
- 6月 11日 木のぶんぶんゴマ
- 7月 9日 貝がらクリップ&動物クリップ
- 8月 27日 貝がら標本作り【材料費200円】  
※8月のみ第2日曜日開催ではありません。ご注意ください。
- 9月 10日 紙コブター
- 10月 8日 牛乳パックでつくるハロウィンおばけ
- 11月 12日 木の実つくり
- 12月 10日 木の実のクリスマスリース
- 1月 14日 牛乳パックのぶんぶんゴマ
- 2月 11日 竹の輪のけん玉
- 3月 11日 お楽しみ♪

## 「あそべるたいむ」

開催日時 毎月第2日曜日 13:30~15:30  
(8月のみ最終日曜日)

参加費 無料(8月のみ有料) 申込 不要  
対象 どなたでも 人数 先着30人

【報告 環境学習推進員 三浦順子】

## 環境・体験講座のご案内

水質チェック、買い物ゲーム、大気調査講座、ごみ・リサイクル講座、地球温暖化と省エネルギー講座、ふろしき活用講座、紙すき体験、自然体験(自然観察、バードウォッチング、水生生物調査)、天文講座、エコソング「うたおう&おどろう」など

◎講座の内容や対象については、環境学習情報センター Tel (059)329-2000までお問合せください。お申込みは、希望日の1か月前までにお願いします。



はみだしNEWS: メルマガ登録者をE-mailで募集中。氏名(ふりがな)、mailアドレスを明記し、info@eco-mie.comまで送信してください。

新企画

## かんきょう絵手紙

### 三重県環境学習情報センターにお手紙ください!!

#### テーマ

移り変わる季節の中で、日々の暮らしの中で、みなさんが身近な自然やごみ・エネルギーなどについて感じていることや心がけていることなどを「絵と言葉」で表現してください。日頃思っていることを絵手紙にして送ってください。

#### 用紙サイズ

普通はがき、または普通はがきと同じサイズの用紙(たて14.0~15.4cm、よこ9.0~10.7cm)

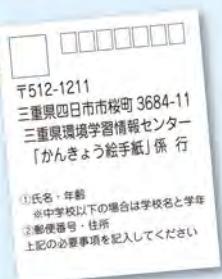
#### 応募資格

- 三重県在住、または三重県内に通勤・通学の方
- 小学生以上

#### 応募時必要事項

はがきの表面に記載

- 氏名
- 年齢
- 中学生以下の場合は、学校名と学年
- 郵便番号・住所



#### 応募方法

三重県環境学習情報センターへ郵送または窓口までお持ちください。

#### 募集期間

通年

#### 発表

- コンクールではありませんが、皆さんにご紹介したい作品については、環境学習みえ紙面に掲載します。5月31日(水)到着分は夏号、11月30日(木)到着分については冬号に掲載。掲載された方には、エコぞうグッズをプレゼント。
- 12・1月の企画展示で全応募作品の発表展示をします。

#### 注意事項

- 応募作品の版権・所有権・使用権は、三重県環境学習情報センターに帰属し、当センター及び三重県の刊行物やホームページなどで使用することがあります。
- 作品は返却しません。● 応募は自作の未発表作品に限ります。● 応募作品数は制限しません。
- 画材は問いません。● 応募にかかる郵送料等はご負担ください。



参考作品

## 企画展示

開館時間内 観覧無料

#### 予告 4・5月

奥川次郎氏(森林インストラクター)  
草木染め

植物の葉、枝、茎、根、実などを煮出した天然染料を用いて染色したストールやTシャツなどを展示します。やわらかな自然の色をお楽しみください。



#### 予告 6・7月

花王株式会社  
花王国際こども環境絵画コンテスト入賞作品展

花王グループでは、“いっしょにeco”をテーマに環境への取り組みを進めています。

その取り組みのひとつ、「花王国際こども環境絵画コンテスト」で、世界の子ども達から応募をいただいた入賞作品をご紹介します。



#### 予告 8・9月

味の素ゼネラルフーズ株式会社  
『ブレンディの森』森づくり活動

AGFはコーヒー製造工場のAGF鈴鹿(株)で使用する水の水源である、鈴鹿川流域(亀山市)の森で2014年から保全活動を実施しています。社員自ら行っている活動の様子をぜひ知ってください!



\*展示期間や展示内容は変更になる場合があります。詳細はお問い合わせください。

## 春のキッズエコフェア

工作や体験などを通してエコについて学べるイベントを開催します。

日時 4月22日(土)・23日(日) 10:00～15:00(雨天決行)

場所 三重県環境学習情報センター(四日市市桜町3684-11)

入場 無料 ※飲食および一部ブースで有料

22日(土)

「エコ」について学べる展示のクイズラリー、みえ星空環境案内人のみなさんによるプラネタリウムの上映などを行います。

※飲食ブースはありません。

23日(日)

間伐材の工作やアロマキャンドル作り、自転車発電体験、プラネタリウムなど県内で活躍する環境活動団体が多数出展します!

飲食ブースもあるので、マイ箸・マイスプーンを持って遊びに来てくださいね♪

同日開催!『春のワクワクふれあいまつり』

三重県環境学習情報センターの周辺にある、四日市市少年自然の家、四日市市ふれあい牧場、四日市スポーツランドの4施設が合同でイベントを開催!

両日とも、各施設間をつなぐ無料のループバスも運行しますので、ぜひご利用ください。

詳しくは ウクふれブログ <http://wakufure.sblo.jp/>

# 講座NEWS

詳細・お申込み方法については、ホームページ・チラシをご覧ください

## PICK UP 環境リーダーを養成する講座がお近くで開催できます

学校の先生の場合

地域活動団体の場合

自治体の場合

スキルアップご利用  
ください。  
メンバーのレベルアップ  
ご利用ください。  
市町での環境活動を  
増やすキッカケ作りに  
ご利用ください。

主催講座は出前講座としても実施できます。詳しくはお電話ください。

## 環境学習指導者養成講座 環境基礎講座

- ①5月27日(土)環境問題、公害 ⑤7月 9日(日)地球温暖化  
 ②6月10日(土)水 ⑥7月16日(日)ESD  
 ③6月18日(日)ごみ (持続可能な開発のための教育)  
 ④7月 1日(土)生物多様性 全6回

会場 サン・ワーク津(津市)

締切 5月9日(火)

スキルアップ講座 驚きリサイクル!コーヒー豆のゆくえ  
～企業に学ぶサステナブルな取り組み～

5月24日(水)

会場 四日市市総合会館(四日市市)

締切 先着順

内容 スターバックスのコーヒー豆の倫理的な調達やコーヒー豆かすのリサイクルの取り組みについてのお話。(コーヒーと日本茶の試飲あり)

スキルアップ講座 すごい!地域の教育力  
～大杉谷自然学校の取り組みから～

5月28日(日)

会場 津市河芸公民館(津市)

締切 5月9日(火)

内容 地域で使われていた昔の道具を実際に手に取りながら学ぶ、体験型プログラムを実施します。

## スキルアップ講座 驚きのクモの世界～野外観察編～

6月3日(土)

会場 松阪農業公園ペルファーム レクチャールーム、  
および野外(松阪市)

締切 5月9日(火)

内容 室内でクモについての概論。野外でクモの採集と観察。クモの種類や生態、等を学びます。

## 環境講座 春のバードウォッチング

5月 7日(日) ①6:30～8:30 ②9:30～11:30

会場 三重県上野森林公园(伊賀市)

申込期間 4月1日(土)～4月23日(日)  
先着順

内容 新緑の上野森林公园を歩いて、野鳥の声などを楽しみます。野鳥に興味をも始めた方や、身近な野鳥について知りたい方向けです。雨天の場合は室内でお話になります。【申込先:上野森林公园】

環境講座 エコぞうウォーク  
～センター周辺の自然を探検しよう～

①5月21日(日) ②10月8日(日) ③12月3日(日)

会場 三重県環境学習情報センター(四日市市)

締切 ①は先着順  
②③はHP参照内容 センター周辺を散策することで景色を楽しみ、自然に親します。  
ご家族やお友達を誘ってお申し込みください(雨天:室内)

## 環境講座 ヒヌマイトンボ観察会

6月24日(土) 小雨決行

会場 宮川浄化センター(伊勢市)

締切 5月23日(火)

内容 伊勢市にある宮川浄化センターで、絶滅危惧種のヒヌマイトンボについてお話を聞いた後、浄化センターの敷地内でヒヌマイトンボの観察をします。

## 環境工房 草木染め

5月13日(土)

会場 三重県環境学習情報センター(四日市市)

締切 4月20日(木)

内容 ウメとヨモギを使用して、ストールやハンカチを染色します。

## 講座・イベント

## 開催時期

## 講座・イベント

## 開催時期

スキルアップ講座 生物多様性シリーズ  
「日本人とサメ～可愛い?おいしい?役に立つ?～」

9月9日(土)

環境学習指導者養成講座  
自然体験活動指導者(NEAL)養成講座10月～12月に  
全2回開催環境講座  
しめ縄作り

12月23日(土)

環境学習指導者養成講座  
環境学習リーダー養成講座

冬に開催

環境学習指導者養成講座  
P L T 指導者養成セミナー

秋に開催

スキルアップ講座  
生態学シリーズ「生存戦略」12月2日(土)  
2月10日(土)環境学習指導者養成講座  
野鳥案内人(基礎・冬)

冬に開催

秋のキッズエコフェア

9月30日(土)  
10月1日(日)

## 三重県環境学習情報センター

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684-11

Tel	(059) 329-2000
Fax	(059) 329-2909
Mail	info@eco-mie.com
HP	<a href="http://www.eco-mie.com">http://www.eco-mie.com</a>
休館日	年末年始(12月29日～1月3日)
開館時間	午前9時～午後5時30分
入館料	無料 ※お気軽にお越しください

[f Facebook](#) [t Twitter](#) [@eco\\_zou](#)
